

タイトルの「岁月继续 葳蕤生香」は「素晴らしい思い出はいつまでも忘れずに、未来は常に花が咲き誇り、春のように明るく希望に満ちていることを願う」という意味です。



第2回

スィ ユエ チェンチュエン ウェイ ルイ ションシアン  
岁月继续 葳蕤生香

## 私から見た 中国と日本の教育現場

今回は中国と日本との教育の違いについて少し触れました。今回も私から見た面白い中国と日本の教育現場について、さらに皆さんと共有したいと思います。

まず、私の出身地について紹介します。私は河南省登封市（とうほうし）の出身です。登封市といえば少林寺が有名で、多くのアクション映画の舞台となっていることで知られています。今の時期は中国も夏休み中で、多くの学生が家族と旅行をしたり、塾に通った

王 克麗（ワン・ケリ）

1992年、中国の河南省生まれ。

日本の音楽や映画、ドラマを通して日本に興味を持ち、天津職業技術師範大学で日本語を学ぶ。2023年4月10日、中国語のALTとして白糠に着任。



りしています。登封市には武術学校が多くあり、夏休みに武術学校へ通う学生が増えています。最近中国のソーシャルメディア（インターネット）を利用した情報発信で伝統文化を宣伝する若い人が増えたため、多くの親が興味を持ち子どもに武術を勉強させているようです。

中国の夏休みは長く、ほとんどの学生が塾に通います。子どもたちは親から「夏休み中は猛勉強して、他のクラスメートに追いつくチャンスだ」とよく言われます。

そのため、夏休み中でも塾に通う学生が多いのです。私も「ずっと頑張らなければ他の人に追いつかれるよ」と言われて育ってきました。この言葉でリラックスできなくなり、暇なときに何もしなければ、時間の無駄だと罪悪感を感じるようになりました。たまには心の緊張を解き放たなければいけないと思うこともあります。

さて、中国の学校では毎日ラジオ体操と目の保護体操が取り入れられています。ラジオ体操の時間になると、全校生徒がグラウンドに集まり、スピーカーから流れる音楽に合わせて号令が掛けられま

す。目の保護体操は、目の疲れを和らげるために一日何回か行われます。私は子どもの頃、ラジオ体操が大嫌いでラジオ体操の時間になると「お腹がいたい」とか、「体調が悪い」と言っていて、できるだけさぼっていました。いま思うと、ラジオ体操は体や健康にも良いので、なぜきちんとやらなかったのかと少し後悔しています。

日本に来てから気づいたことで

すが、日本の学校では朗読して暗唱することがほとんどありません。

中国では小学校から高校まで、毎朝30分ほど大声で朗読して暗唱するのが日課です。暗唱の内容は、



夏休み中に武術を学ぶ学生たち

中国語の唐詩や宋词から英単語、文章など多岐にわたり、幅広い内容を暗記しなければなりません。いま考えると、この暗唱時間が良かったなと思います。当時は暗唱が大嫌いでしたが、これらの古典詩や詞は、漢字への深い理解と中国語の語彙力の向上に役立っているのです。言葉遣いやリズム感を学ぶことで言語能力を高めることができますし、唐詩や宗詞には人生の教訓や道徳的な価値観が含まれていることが多く、人格形成に寄与します。古典文学を通じて、伝統的な価値観や美德を学ぶことができました。



学校で目の保護体操をしている学生